



2016年 1月
発行：長崎県教育委員会

会いに来て♪
これからの
世界遺産に!

「世界遺産」登録を
目指す、構成資産を
紹介します!
案内役の美龍です♪



「南蛮人來朝之図」(長崎歴史文化博物館 収蔵)

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」って知ってるかな?

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は、日本のキリスト教の歴史と深い結びつきがある長崎県と熊本県に広がる14の構成資産です。時代ごとに「城跡」、「集落」、「教会建築」の大きく3つに分けられます。今から一つ一つ、年表とともに見てみましょう!!

日本のキリスト教の歴史

伝わる/広まる

1549年(天文18)～
フランシスコ・ザビエルが
日本へキリスト教を伝える。
1550年(天文19)
フランシスコ・ザビエル、
長崎の平戸を訪れる。
長崎地方にキリスト教が
伝わる。

1563年(永祿6)
大村の領主、大村純忠が洗礼を受け、
日本初のキリスト教大名となる。
1580年(天正8)
長崎がイエズス会の領地となる。
島原の領主、有馬晴信が日野江城
にて洗礼を受け、キリスト教大名
となる。

弾圧を受ける/ひそかに守り続ける

1614年(慶長19)
日本全国でキリスト教が
禁止される。(禁教令)
1637年(寛永14)
「島原・天草一揆」が起きる。
1644年(寛永20)
国内に宣教師がいなくなる。
→自分たちで信仰を守る体制
づくりへ
1797年(寛政9)
海外地方から離島への移住が
始まる。
→離島にキリスト教集落が広まって
いく

信仰の自由/教会堂を建てる

1865年(元治元年)
フランス人の神父により、
長崎に住む外国人のために
大浦天主堂が建てられる。
1873年(明治6)～
キリスト教の信仰が自由となり、各地の
キリスト教集落に次々と教会堂が建てられる。
⑫～⑭の教会堂は、
長崎県出身の建築家、鉄川与助さんが
手がけています♪

そして現在

2016年(平成28年)、
「世界遺産」に登録
されるかも!?

2014年に日本から推薦され、
2015年の秋にユネスコの依頼を受けた
専門機関(イコモス)が調査に来日しました。
今、登録のための審査を受けています!!

始まりと広がり・・・「城跡」

日本とヨーロッパとの貿易を通じた東西
の文化交流が始まり、キリスト教の布教
が許可され、全国に広まっていきました。



①日野江城跡<南島原市>

キリスト教大名となった有馬晴信の城跡です。
城の周りには、キリスト教文化が栄えました。

「城跡」・・・「弾圧」

重税と弾圧に苦しむ島原と天草の
人々が立ち上がり、「島原・天草一揆」
を起こします。



②原城跡<南島原市>

「島原・天草一揆」の際に一揆勢が
立てこもった城跡です。

ひそかな継承・・・「集落」

ひそかに信仰を守る中で、独自の信仰の
かたちがつくられました。



③平戸の聖地と集落
(春日集落と安満岳)
<平戸市>



④平戸の聖地と集落
(中江ノ島)<平戸市>

③と④の集落では、教会堂が持てない中で、
山や島を聖地として、ひそかに信仰を続けました。



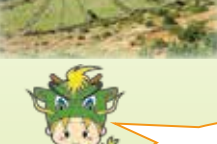
⑤天草の崎津集落
<熊本県天草市>



アワビ貝を拜むなど、
漁村独特のキリスト教
行事を行い、ひそかに
信仰を守り続けました。



⑥野崎島の野首・舟森
集落跡<小値賀町>



海外から移住し、厳し
い自然環境を開拓した、
キリスト教集落跡です。

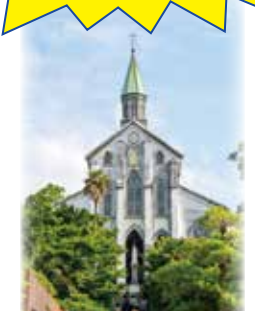
日本独特のキリスト教の
かたちが生まれました!!

1865年(元治元年)
フランス人の神父により、
長崎に住む外国人のために
大浦天主堂が建てられる。

まだ国内では禁教令が
続いていたので、最後の
大きな弾圧が始まる。

「信徒発見」!!

1865年3月17日



⑦大浦天主堂と関連施設
<長崎市>1865年(元治元年)献堂

当時の日本人のキリスト教が、フランス人の
神父にひそかに信仰を打ち明けた
といわれる教会堂です。この事を
「信徒発見」といいます。
日本に残る最も古い教会堂で、
周りには大司教館や神学校があり
ます。



⑧旧五輪教会堂
<五島市>1881年(明治14)完成

初期の木造の教会堂です。
現在の場所には、1931年
(昭和6)に移されました。

復活・・・「教会建築」

再びキリスト教の信仰が認められ、信仰を守り続け
てきた信者により各地に教会堂が建てられました。



⑧旧五輪教会堂
<五島市>1881年(明治14)完成

初期の木造の教会堂です。
現在の場所には、1931年
(昭和6)に移されました。



⑨出津教会堂と関連施設
<長崎市>1882年(明治15)完成

強い海風に備え屋根の低い
教会堂です。周りにはマカロニ
を作っていた施設もあります。



⑩大野教会堂
<長崎市>1893年(明治26)完成

海外地域の石を活用した、
独特の石積み技術で建て
られた教会堂です。



⑬江上天主堂
<五島市>1918年(大正7)完成

伝統的な木造技術を応用
した教会堂の代表例です。



⑪黒島天主堂
<佐世保市>1902年(明治35)完成

フランス人の設計による
地元の材料を使ったレンガ
造りの教会堂です。



⑭頭ヶ島天主堂
<新上五島町>1919年(大正8)完成

地域の石材「砂岩」を活用
した石造りの教会堂です。

「世界遺産」登録への大切な「ポイント」

- ◇16世紀以来のキリスト教を
通じた東西交流。
- ◇日本の生活環境や文化の中で
独自のキリスト教文化がた
ちづくられたこと。
- ◇キリスト教がアジアの東の端に
到達したという世界的なできごと
に関連すること。

「世界遺産」登録
に向けてがんばっ
ています!!

信者の方々や、地域の
人々、自治体は、14の
構成資産を大切に
守り続けています。

★注目★

弾圧の中で、人々はどうのよう
にして信仰を守ったのかな?
説明文の中から、見つけて
みてね!

★「世界遺産ニュース」について★
バックナンバーは長崎県教育委
員会の学芸文化課のホームページを
ご覧ください!!

構成資産の場所の紹介

- ③平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)
- ④平戸の聖地と集落(中江ノ島)
- ⑫田平天主堂
- ⑪黒島天主堂
- ⑩大野教会堂
- ⑨出津教会堂と関連施設
- ⑧旧五輪教会堂
- ⑦大浦天主堂と関連施設
- ⑥野崎島の野首・舟森集落跡
- ⑤天草の崎津集落

- ⑭頭ヶ島天主堂
- ⑬江上天主堂
- ⑫田平天主堂
- ⑪黒島天主堂
- ⑩大野教会堂
- ⑨出津教会堂と関連施設
- ⑧旧五輪教会堂
- ⑦大浦天主堂と関連施設
- ⑥野崎島の野首・舟森集落跡
- ⑤天草の崎津集落

- ⑭頭ヶ島天主堂
- ⑬江上天主堂
- ⑫田平天主堂
- ⑪黒島天主堂
- ⑩大野教会堂
- ⑨出津教会堂と関連施設
- ⑧旧五輪教会堂
- ⑦大浦天主堂と関連施設
- ⑥野崎島の野首・舟森集落跡
- ⑤天草の崎津集落

みなさんは、構成資産
のある地域に行った
ことがあるかな♪

★「構成資産」とは…価値を証明できる文化遺産のこと。